

令和4年度 岩手県立宮古北高等学校学校経営計画【抜粋】

校長：佐藤 禎信

校訓・教育目標		○校訓：【誠実・剛健・進取】 ○教育目標：生徒一人ひとりを尊重する教育 知性を高め、創造力に富んだ生徒の育成をめざす。(知) 自主性を伸ばし、規律を重んじる生徒の育成をめざす。(徳) 強健な心身と情操豊かな生徒の育成をめざす。(体)		
目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標	
		ア 社会で求められる資質・能力を育む授業の充実	・わかりやすい授業を行っていると感じた生徒の割合【85%】	
		イ 自らの将来をデザインする能力を育成するキャリア教育の充実	・進路に関する情報を十分に提供し、生徒の卒業後の進路を考え、進路実現のサポートをしていると感じた生徒の割合【90%】	
		ウ 豊かな人間性を育む教育の推進	・あいさつ・礼儀やマナーがよいと感じた生徒の割合【85%】 ・学校生活に充実感を感じていると感じた生徒の割合【80%】 ※両方達成で達成とする。	
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	・本校はいじめや暴力のない学校づくりに努めていると感じた生徒の割合【90%】。	
		オ 教育活動のユニバーサルデザイン化とわかりやすい指導の充実	・個々の能力や適性を踏まえた指導をしていると感じた生徒の割合【85%】	
	(2) 取組方針	ア 社会で求められる資質・能力を育む授業の充実 (ア) 「わかる授業」と計画的な家庭学習により基礎学力の定着を図る。 (イ) 体験学習や探究活動を推進し、思考力・判断力を育成するとともに、成果を積極的に発信して、論理的な情報発信力を育成する。 (ウ) 校外研修や校内での互見授業などをおし「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業と学習評価の改善に取り組み、授業力向上を図る。		
		イ 自らの将来をデザインする能力を育成するキャリア教育の充実 (ア) 地域や社会人との交流等、様々な体験活動をおして、勤労観・職業観を育成する。 (イ) 主体的に将来をデザインするための人生観、先見性、情報活用力を育成する。 (ウ) キャリアパスポートを活用した継続的・組織的な指導を行い、進路の実現を図る。		
		ウ 豊かな人間性を育む教育の推進 (ア) 挨拶、礼儀、整容、マナーなど、社会人として自立するための基本を身につける。 (イ) 小規模校の特色を生かし、全員が主役となる活動により自己肯定感を得させる。 (ウ) 部活動や「宮北の森」をはじめとする生徒会行事等の活性化を図り、他者との協調性、協働性を育成する。 (エ) 地域の魅力に関する学習や地域課題に関する探究活動をおして、地域への愛着、自地域肯定感を高め、地域の復興を担う人材としての意識を高める。		
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止 (ア) 担任やＳＣによる面談を踏まえ、いじめ対策委員会や定例教育相談会を機能的に運用する。 (イ) 読書活動や多様な他者との協働などにより豊かな心を育成し、いじめ防止対策を徹底して、安心安全な環境を確立する。		
		オ 教育活動のユニバーサルデザイン化とわかりやすい指導 (ア) 教育活動のすべてにおいて、誰にでも理解できる表現や手法を用いる。 (イ) 特別支援教育に係る校内研修を行い、教職員の支援能力の向上を図る。 (ウ) 個別の支援計画等で生徒の情報を共有し、組織的なオーダーメイド支援を強化する。		